

平成14年度

### 清方の描く叙情－春・夏編－

ローマへ立つ平福百穂・松岡映丘を見送るため、神戸まで旅行した際に取材して描いた、京都の「舞妓」や奈良の「大和路の或る家」等、春と夏の叙情を紹介した。

会期 平成14年4月26日(金)～平成14年7月21日(日)(開館日数:72日)

総入館者数 7,580人(一日平均:105人)

#### 出品作品

【前期】(春)4月26日(金)～6月2日(日)

「早春」「春の立場茶屋(金沢春景)」「嫁ぐ人」「ためさるゝ日(右幅)」「舞妓」「僧房春蘭」「大和路の或る家」「子供二人」「白梅」「牡丹 一」「牡丹 二」

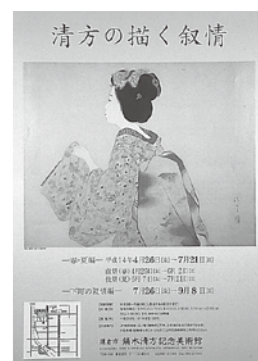
口絵:「暗香」「魔風恋風(小杉中外著『魔風恋風』)」「散歩」「花吹雪(『文藝倶楽部』)」「浴後(『文藝界』)」「日の出島(村井弦齋著『日の出島』)」「藤乃の巻(菊池幽芳著『月魄』)」「春宵怨(下絵)」「彌生(『苦樂』表紙絵 下絵)」「春雨(『苦樂』表紙絵)」「牡丹(『苦樂』表紙絵)」

【後期】(夏)6月7日(金)～7月21日(日)

「浅みどり」「あじさい」「夏の柳井戸」「朝涼」「清子四歳像」「ゆかた」「ゆあみ」「襟おしろい」「山百合」「夕立雲」「百合子(菊池幽芳著『百合子』口絵)」「渦巻(渡邊霞亭著『渦巻』口絵)」「下絵:「風鈴の少女」「遠い花火」「水声」「朝夕安居 朝」「紫陽花の谷」「のれん(夏姿)」「舞妓」「芙蓉(『苦樂』表紙絵)」「花菖蒲(『苦樂』表紙絵)」

#### 関連記事

平成14年4月15日／5月1日／6月15日／7月1日・15日 清方描く－春と夏－(広報かまくら)  
平成14年7月1日 鎗木清方記念美術館 「清方描く－春と夏－」(MOE 7月号)  
平成14年7月6日 清方描く－春と夏－(朝日新聞(夕刊))  
平成14年7月20日 清方描く－春と夏－(MADO美術の窓21-8(230号))



### 清方描く－下町の叙情－

東京下町の風俗に材をとった「ほゝづき」など数点を展示した。

会期 平成14年7月26日(金)～平成14年9月8日(日)(開館日数:39日)

総入館者数 2,507人(一日平均:64人)

#### 出品作品

「築地明石町船・詞」「ほゝづき」「龍膽」「新大橋之景」「年増美人」「ふたつあちさる」「風景画」「柳の下に涼む娘」  
下絵:「築地明石町」「舞妓」「新富町」「大川端」「夏ざしき」「鯛」「蟹と童」「女役者衆八」「朝夕安居 昼」「宇治の蛍(『苦樂』表紙絵)」「湯の宿(『苦樂』表紙絵)」

#### 関連記事

平成14年7月25日 鎗木清方が描いた下町の叙情(逗子葉山秋谷新聞)  
平成14年8月 1日 清方描く－下町の叙情－(湘南よみうり)  
平成14年8月 1日・15日／9月1日 清方描く－下町の叙情－(広報かまくら)  
平成14年8月 5日 清方描く－下町の叙情－(鎌倉朝日)



リーフレット

## 清方の世界 特別展 卓上芸術へ

「床の間芸術」や「会場芸術」に対して、人交ぜもせず卓上に広げて、その細かい筆遣いを味わう清方の提唱した「卓上芸術」を紹介した。

会期 平成14年9月18日(金)～平成14年11月24日(日)(開館日数:55日)

総入館者数 5,952人(一日平均:108人)

### 関連事業

【講演会】清方の卓上芸術ーさし絵から絵巻物へー

【講師】倉田公裕(美術評論家・専門委員)

【日時】平成14年9月16日(月)14:00～15:30



### 出品作品

【前期】9月18日(水)～10月20日(日)

「雪」	大正15年	絹本着色	軸	129.0×41.0	福富太郎コレクション
「注文帖(下絵)」	昭和2年	紙本墨画淡彩	画卷	24.9×33.0	福富太郎コレクション
「筑波おろし」	昭和10年頃	絹本着色	軸	113.5×27.5	福富太郎コレクション
「今戸橋冬の雨」	昭和13年頃	絹本着色	軸	123.5×35.8	福富太郎コレクション

「注文帖」「注文帖画譜」「朝夕安居 昼 夕」「寺子屋画帖」「絵日記(大正15年)」

「絵日記(大正期)」「夏の生活」「君ヶ寄漫筆」「牡丹 一」

口絵:「幕間(『清方美人畫譜』)」「いで湯の夕べ(『文藝俱樂部』)」「あさ露(『文藝俱樂部』)」

「お夏清十郎物語(下絵)」「小説家と挿絵画家(下絵)」

【後期】10月26日(土)～11月24日(日)

「朗羅」	昭和8年	絹本着色	額	96.0×42.5	富士美術館
「春宵」	昭和10年	絹本着色	軸	55.5×71.7	富士美術館
「朝顔日記」	昭和14年	紙本着色	画帖	24.0×33.5	静岡県立美術館

「にぎりえ(全15面)」「朝夕安居 朝」「にぎりえ(画譜)」

「朝顔日記(下絵)」「船住居(下絵)」

「大手町附近(スケッチ)」「行徳寺の常夜燈(スケッチ)」

### 関連記事

平成14年9月15日／10月1日・15日／11月1日・15日

鎌木清方記念美術館 特別展「清方の世界～卓上芸術へ」(広報かまくら)

平成14年9月21日 「卓上芸術特別展」鎌倉の鎌木清方記念美術館で始まる(毎日新聞)

平成14年9月25日 特別展「清方の世界～卓上芸術へ」(逗子葉山秋谷新聞)

平成14年9月 鎌倉市鎌木清方記念美術館(Living Load Vol.12)

## 清方描く－秋と冬－

昭和22年制作の「虫の音」を中心に、清方の秋と冬の叙情を紹介した。

**会場** 平成14年11月29日(金)～平成14年12月20日(日)(開館日数:19日)

**総入館者数** 1,178人(一日平均:62人)

### 出品作品

「虫の音」「秋宵」「雪空」「菊慈童」「暮れゆく沼」「栗をむく娘」  
 「雑司ヶ谷会式」「教誨」  
 口絵:「小ゆき(菊池幽芳著『小ゆき』前編)」「恋学生(小栗風葉著『恋学生』)」「上野の花(渡邊霞亭著『渦巻』下編)」  
 下絵:「瀧野川観楓」「初冬の花」「伽羅」「雪旦」「明治の女」「十一月の雨」「茶の間の秋」



リーフレット

### 関連記事

平成14年11月25日 鐺木清方記念美術館 「清方描く－秋と冬－」(逗子葉山秋谷新聞)

平成14年12月1日 鐺木清方記念美術館 「清方描く－秋と冬－」(広報かまくら)

## 特別展 清方の見た東京の正月－羽子板展－

清方が昭和10年に描いた「明治風俗十二ヶ月」を押絵師永井周山が意匠化した押絵羽子板と、井上安治作「東京真画名所図解」等から清方の愛した明治の東京を中心に展示した。

**会期** 平成15年1月4日(土)～平成15年2月9日(日)(開館日数:32日)

**総入館者数** 3,174人(一日平均:99人)

### 出品作品

「亀井戸梅屋敷」	井上安治作	明治	未表装	9.6×15.6
「向島桜」	井上安治作	明治	未表装	9.6×15.5
「今戸橋雪」	井上安治作	明治	未表装	9.5×15.4
「京橋」	井上安治作	明治	マット	9.5×15.5
「新富座」	井上安治作	明治	未表装	9.6×15.6
「銀座通夜景」	井上安治作	明治	未表装	9.6×15.7
「赤坂仮皇居」	井上安治作	明治	未表装	9.5×15.6
「清洲橋」	川瀬巴水作	昭和6年	マット	24.0×36.4
「十五代 市村羽左衛門の暫」		大正～昭和初期	羽子板	46.0×15.5
「六代 尾上菊五郎の御所五郎蔵」		大正～昭和初期	羽子板	45.2×15.5
「勸進帳の富樫」		大正～昭和初期	羽子板	61.0×23.8
「道成寺」		大正～昭和初期	羽子板	61.0×23.4

以上12点東京都江戸東京博物館

「明治風俗十二ヶ月(押絵羽子板 永井周山作)」「初雁の御歌(小下絵)」「賛春(小下絵)」

### 関連記事

平成14年12月25日 清方の見た東京の正月－羽子板展－(逗子葉山秋谷新聞)

平成15年 1月 1日/2月1日 特別展「清方の見た東京の正月～羽子板展」(広報かまくら)

平成15年 1月 5日 早春 鐺木清方 美と出会う 鎌倉市鐺木清方記念美術館(東京新聞)

平成15年 1月14日 鎌倉の鐺木清方記念美術館 東京の明治風俗描く 押し絵羽子板展(神奈川新聞)

